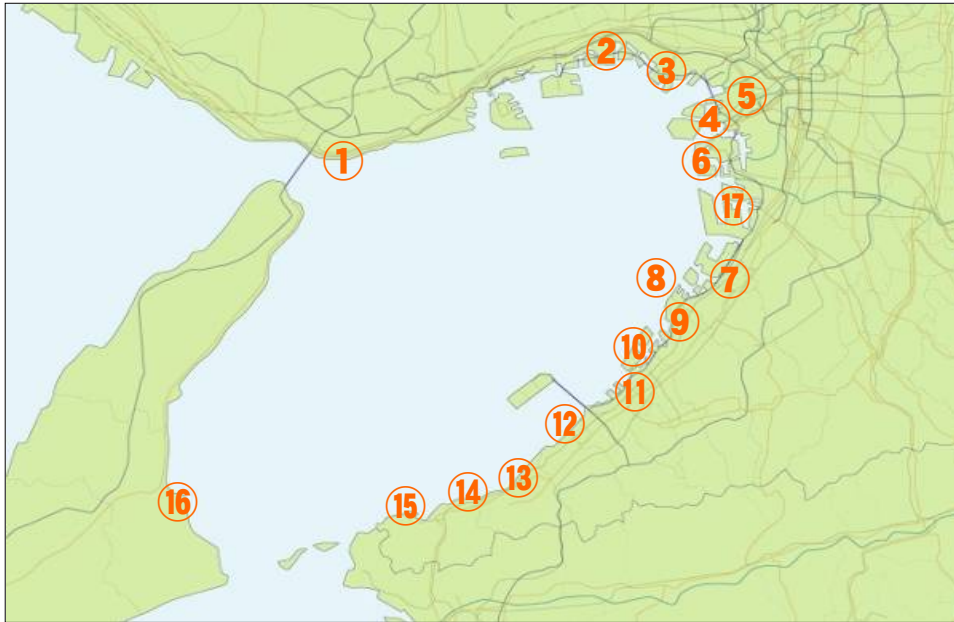


## 平成22年度 第3回大阪湾生き物一斉調査について

### 1 調査概要

平成22年は5月29日に17地域において792名が参加して、第3回大阪湾生き物一斉調査を実施しました（一部の地域では、5月の別の日に実施）。調査地域及び担当団体等は図1に示すとおりです。

なお、地域の番号はこれまでの調査と整合させずに、通し番号としています。



調査地点	調査地点の環境	担当団体	参加人数
1 アジュール舞子	砂浜、磯・岩礁	須磨海浜水族園ボランティア	184
2 香櫨園浜	砂浜、磯、干潟	西宮自然保護協会	71
3 甲子園浜海浜公園	干潟	NPO法人 海浜の自然環境を守る会	35
	干潟	NPO法人 シニア自然大学校 子供教育部門	98
4 矢倉海岸	干潟	西淀自然文化協会	72
5 十三干潟（淀川）	干潟	(社)大阪自然環境保全協会 淀川自然観察会 [5/30]	26
6 大阪南港野鳥園	人工磯・干潟	大阪南港野鳥園	20
7 高師浜	砂浜、干潟	浜寺公園自然の会	32
8 大津川河口	干潟	きしわだ自然資料館 [5/30]	28
9 阪南二区埋立地	干潟	きしわだ自然友の会	36
10 近木川河口	干潟	NPO法人 シニア自然大学校 森と海の自然科 [5/27]	16
	干潟	貝塚市立自然遊学館 [5/15]	57
11 二色の浜	砂浜、磯	貝塚市立自然遊学館 [5/8、5/15]	20
12 櫻井川河口 岡田浦海岸	砂浜、岩礁	男里川の干潟を守る会	20
13 樽井海岸 男里川河口干潟	干潟		
14 せんなん里海公園	砂浜、磯、岩礁	里海くらぶ連絡協議会	36
15 東川（落合川）河口	干潟	きしわだ自然資料館 [5/30]	(28)
16 洲本市大浜	磯、岩礁	国立公園成ヶ島を美しくする会	16
17 堺2区埋立地	磯、岩礁、干潟	NPO法人 釣り文化協会	25

図1 平成22年度の調査箇所一覧

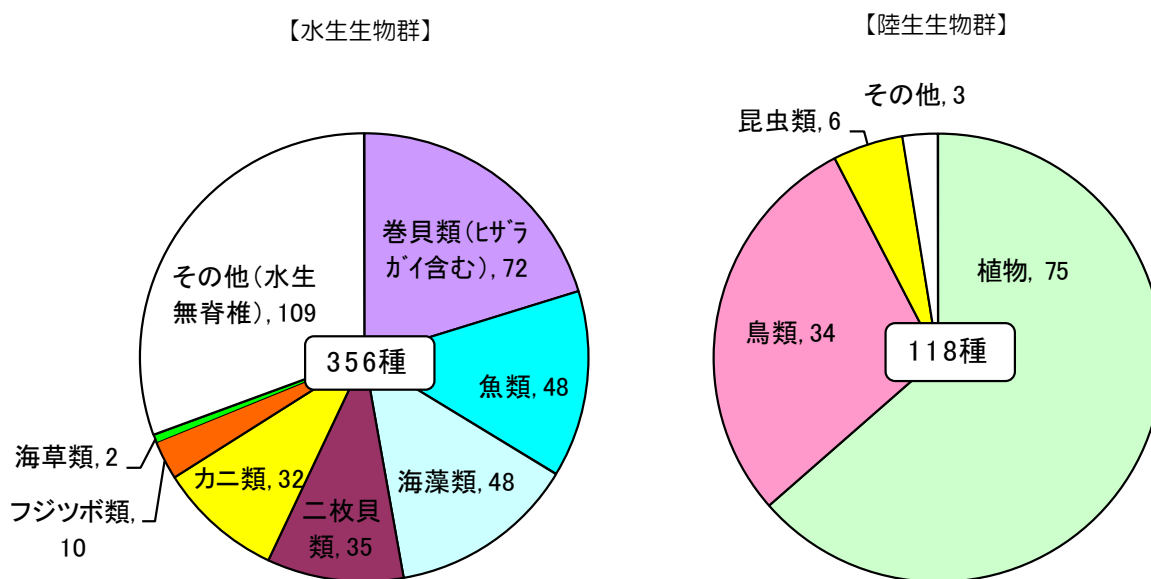
## 2. 出現種

本年度の大阪湾生き物一斉調査によって確認された出現種を表1に示しました。

種名まで同定された種類は474種（うち、調査シートのリスト掲載種41種）でした。

水生生物群では、海藻類及び海草類が50種、動物は貝類が107種（巻き貝72種、二枚貝35種）、魚類が48種、カニ類が32種等でした。陸生生物群では植物が75種、鳥類が34種等でした。

出現種のうち特筆すべき種として、兵庫県、大阪府、水産庁、WWFの各RDBと環境省のレッドリスト（2007年）に掲載されている種に該当するものを付表に示しました。全体の貴重種としては49種類が該当しました。このうち、海藻はスジアオノリ、ホソアヤギ又の2種、植物はコウボウムギ、ハマゴウ、ハマボウフウの3種（リスト掲載種のみ）、海草はコアマモ1種、貝類はウミニナ、カワグチツボ、クリイロカワザンショウ、フトヘナタリ、クチバガイ、ソトオリガイ、ヤマトシジミ等20種、カニ類はシオマネキ、ハクセンシオマネキ等10種、魚類はイダテンギンボ等5種、その他は多毛類のコケゴカイ、エビ類のテッポウエビ等8種でした。



注) 1. 数字は種数を示す。

2. 陸生生物群の「その他」は爬虫類、両生無脊椎類、陸生無脊椎動物を含み、カメ類等若干の水生生物を含む。

図2 平成22年度出現種の分類群別種数

表1(1) 出現種一覧(平成22年度)

分類	No.	種名	分類	No.	種名	
海藻類 (緑藻類)	1	アオサ科sp.1	植物	85	コウボウシバ	
	2	アオサ科sp.2		86	コウボウムギ	
	3	アオサ属		87	コマツヨイグサ	
	4	アナアオサ		88	コマツツメクサ	
	5	ウスバアオリ		89	シロバナシナガワハギ	
	6	スジアオリ		90	シロバナマンテマ	
	7	ボタンアオサ		91	スイカズラ	
	8	ミナミアオサ		92	ススキ	
	9	ミル		93	スダジイ	
	(褐藻類)	10		アカモク	94	タイトゴメ
		11		イシゲ	95	ツキミマンテマ
		12		ウミウチワ	96	ツルナ
		13		カジメ	97	ツルヨシ
		14		シダモク	98	ツワブキ
		15		タマハハキモク	99	トベラ
		16		ヒジキ	100	ナガエツルノゲイトウ
		17		フクロノリ	101	ナルトサワギク
		18		ヨレモクモドキ	102	ナワシログミ
		19		ワカメ	103	ナンキンハゼ
	(紅藻類)	20		アマリ属	104	ネズミホソムギ
		21		イソダンツウ	105	ネズミムギ
		22		エンジマダラ	106	ネズミモチ
		23		オキツノリ	107	ノイバラ
		24		オゴノリ	108	ノボロギク
		25		オハクサ	109	ハゼノキ
		26		カイノリ	110	ハマアオスゲ
		27		キョウノヒモ	111	ハマウド
		28		クロモ	112	ハマエンドウ
		29		コスジフシツナギ	113	ハマオモト(ハマユウ)
		30		コブソソ	114	ハマゴウ
		31		コメノリ	115	ハマサジ
		32		サクラノリ	116	ハマダイコン
		33		スジムカデ	117	ハマツメクサ
		34		ススカケベニ	118	ハマナス
		35		タオヤギソウ	119	ハマニンニク
		36		ツノマタ	120	ハマビシ
		37		ツノマタ属	121	ハマヒルガオ
		38		ツノムカデ	122	ハマボウフウ
		39		トサカマツ	123	ハマボツ
		40		ハイウスバノリ属	124	ハママツナ
		41		ハイテングサ	125	ベニバナセンブリ
		42		ヒメテングサ	126	ヘラオオバコ
		43		ビリヒバ	127	ホコガタアカザ
		44		フクロフノリ	128	ホソバハマアカザ
		45		フシツナギ	129	ホソムギ
		46		フダラク	130	マサキ
		47		ベニスナゴ	131	マンテマ
		48		ホソアヤギヌ	132	ヨシ
		49		マクサ	133	ヨモギ
		50		マツノリ	134	アマモ
		51		マルバアマノリ	135	コアマモ
		52		ミソオゴノリ	136	アオガイ属
		53		ムカデノリ	137	アカニシ
		54		ユナ	-	アカニシ(卵)
		55		無節サンゴモ類	138	アダムスタマガイ
(藍藻類)	56	ユレモ科	139	アマオブネガイ		
	57	アオツツラフジ	140	アメフラシ		
	58	アカザ科	141	アラムシロガイ		
	59	アカメガシワ	142	アラレタマキビガイ		
	60	アキグミ	143	アワジチグサガイ		
	61	アキニレ	144	イシダタミガイ		
	62	アキノゲシ	145	イシマキガイ		
	63	アブラナ科	146	イソニナ		
	64	アメリカオニアザミ	147	イボサンショウガイモドキ		
	65	アメリカセンダングサ	148	イボニシ		
植物	66	アメリカネナシカズラ	149	ウスヒザラガイ		
	67	アレチムラサキ	150	ウノアシガイ		
	68	アレチマツヨイグサ	151	ウミニナ		
	69	イソヤマテンツキ	152	ウミフクロウ		
	70	イタドリ	153	エビスガイ		
	71	イヌホオズキ	154	オオヘビガイ		
	72	イヌムギ	155	カキウラクチキレモドキ		
	73	ウシオハナツメクサ	156	カスリアオガイ		
	74	ウスベニツメクサ	157	カラマツガイ		
	75	オオフタバムグラ	158	カワグチツボ		
	76	オカヒジキ	159	カワザンショウガイ		
	77	オニヤブソテツ	160	キクハナガイ		
	78	オノマンネングサ	161	キシユウベッコウタマガイ		
	79	カモジグサ	162	キヌハダウミウシ		
	80	カラスムギ	163	クビレクロヅケガイ		
	81	ギンギン	164	クボガイ		
	82	ギョウギシバ	165	クマノコガイ		
	83	クコ	166	クリイロカワザンショウ		
84	クロマツ	167	クロツケガイ			
			海藻類	134	アマモ	
				135	コアマモ	
			貝類	(巻き貝)	136	アオガイ属
					137	アカニシ
					-	アカニシ(卵)
					138	アダムスタマガイ
					139	アマオブネガイ
					140	アメフラシ
					141	アラムシロガイ
					142	アラレタマキビガイ
					143	アワジチグサガイ
					144	イシダタミガイ
					145	イシマキガイ
					146	イソニナ
					147	イボサンショウガイモドキ
					148	イボニシ
					149	ウスヒザラガイ
					150	ウノアシガイ
					151	ウミニナ
					152	ウミフクロウ
					153	エビスガイ
					154	オオヘビガイ
					155	カキウラクチキレモドキ
					156	カスリアオガイ
					157	カラマツガイ
					158	カワグチツボ
					159	カワザンショウガイ
					160	キクハナガイ
					161	キシユウベッコウタマガイ
					162	キヌハダウミウシ
					163	クビレクロヅケガイ
					164	クボガイ
					165	クマノコガイ
					166	クリイロカワザンショウ
					167	クロツケガイ

水色：種まで同定されていないもの

黄色：卵囊(塊)は、本体が出現している場合は、種類数から抜いた

表1(2) 出現種一覧(平成22年度)

分類	No.	種名	分類	No.	種名	
貝類 (巻き貝)	168	クロヘリアメフラシ	多毛類	252	Nereis属	
	169	ケハダヒザラガイ		253	Perinereis属	
	170	コウダカアオガイ		254	Polydora属	
	171	コウダカマツムシ		255	Typosyllis属	
	172	コシダカガンガラ		256	アシナガゴカイ	
	173	コビトウラウズ		257	イソメ科	
	174	コモレビコガモガイ		258	イトゴカイ科	
	175	サクラアオガイ		259	イワムシ	
	176	サザエ		260	ウズマキゴカイ科	
	177	サツマクリイロカワザンショウガイ		261	ウミケムシ	
	178	シボリガイ		262	ウロコムシ科	
	179	シマメノウフネガイ		263	エゾカサネカンザシゴカイ	
	180	スガイ		264	オトヒメゴカイ	
	181	スクミンゴガイ		265	カスリオフエリア	
	182	スズメハマツボ		266	カニヤドリカンザシゴカイ	
	183	タマキビガイ		267	カンザシゴカイ科	
	184	チグサガイ		268	クマドリゴカイ	
	185	チャツボ		269	ゴカイ科	
	186	ツボミガイ		270	コケゴカイ	
	187	ツメタガイ		271	サシバゴカイ科	
	188	ババガセ	272	サンハチウロコムシ		
	189	ヒザラガイ	273	タマシキゴカイ		
	190	ヒメケハダヒザラガイ	274	ツルヒゲゴカイ		
	191	ヒメコザラガイ	275	ヒトツブゴカイ		
	192	ヒメタニシ	276	フサウスウロコムシ		
	193	ヒラスカシガイ	277	フサゴカイ科		
	194	ブドウガイ	278	ミズヒキゴカイ		
	195	フトヘナタリ	279	ヤチウロコムシ		
	196	ヘソカドガイ	280	ヤッコカンザシ		
	197	ベッコウガサガイ	281	多毛類		
	198	ベニバイ	282	アカヒゲドロソコエビ		
	199	ホソウミニナ	283	アゴナガヨコエビ属		
	200	ホソスジアオガイ	284	ウミモフレカラ		
	201	マダカアワビ	285	カマキリヨコエビ属		
	202	マダラウミウシ	286	ソコエビ属		
	203	マツバガイ	287	トゲホホヨコエビ属		
	204	マルウスズラタマキビガイ	288	トゲワレカラ		
	205	ミツクチキリオレガイ科	289	ドロクダムシ属		
	206	ムギガイ	290	ドロノミ属		
	207	ヤスリヒザラガイ	291	ニッポンモバヨコエビ		
	208	ヨメガカサガイ	292	ニホンドロソコエビ		
	209	リソツボ科	293	ヒゲツノメリタヨコエビ		
	210	レイシガイ	294	ヒゲナガヨコエビ属		
(二枚貝)	211	アケボノキスタ	295	ヒメハマトビムシ		
	212	アサリ	296	フサゲモクズ		
	213	イガイダマシ	297	フトメリタヨコエビ		
	214	ウスカラシオツガイ	298	ボシエツトゲオヨコエビ		
	215	ウチムラサキガイ	299	ホソヨコエビ		
	216	ウネナシトマヤガイ	300	マルエラワレカラ		
	217	オオノガイ	301	マルハサミヨコエビ属		
	218	オチバガイ	302	メリタヨコエビ属		
	219	オニアサリ	303	モクズヨコエビ科		
	220	カガミガイ	304	モクズヨコエビ属		
	221	カリガネガイ	305	モズミヨコエビ		
	222	クチバガイ	306	ユンボソコエビ科		
	223	クチベニデガイ	307	ヨコエビ類		
	224	クログチガイ	308	ワレカラ類		
	225	ケガキ	フジツボ類	フジツボ	309	アメリカフジツボ
	226	コウロンカワヒバリガイ			310	イワフジツボ
	227	コベルトフネガイ			311	カメノテ
	228	サルボウガイ			312	クロフジツボ
	229	セミアサリ			313	サンカクフジツボ
	230	ソトオリガイ			314	シロスジフジツボ
	231	タマエガイ			315	タテジマフジツボ
	232	タマガイ科			316	ドロフジツボ
	233	チリハギガイ			317	ヒラフジツボ亜科
	234	トマヤガイ			318	ムツアナヒラフジツボ
	235	ナミマガシワ	319	ヨーロッパフジツボ		
	236	ネズミノテ	320	ウンモンフクロムシ		
	237	ヒバリガイ	ヤドカリ類	その他	321	イソカニダマシ
	238	ヒメアサリ			322	ケアシホンヤドカリ
	239	ヒメシラトリガイ			323	コブカニダマシ
	240	ホトギスガイ			324	コブヨコバサミ
	241	マガキ			325	ヒラトゲガニ
	242	マルミエガイ			326	ホンヤドカリ
	243	ミドリイガイ			327	ホンヤドカリ科
	244	ミミエガイ			328	ホンヤドカリ属
	245	ムラサキイガイ			329	ユビナガホンヤドカリ
	246	ヤマトシジミ			330	ヨモギホンヤドカリ
多毛類	247	Amphitrite属	カニ類	331	アカテガニ	
	248	Eulalia属		332	アシハラガニ	
	249	Glycera属		333	イシガニ	
	250	Harmothoe属		334	イソガニ	
	251	Hediste属		335	オウギガニ	

水色：種まで同定されていないもの

黄色：卵囊(塊)は、本体が出現している場合は、種類数から抜いた

表1(3) 出現種一覧(平成22年度)

分類	No.	種名	分類	No.	種名		
カニ類	336	オウギガニ科	魚類	420	マハゼ		
	337	オオシロビシノ		421	ミズハゼ		
	338	オキナガニ		422	ミズハゼ属		
	339	カクベンケイガニ		423	ムスジガジ		
	340	ガザミ		424	ムラソイ		
	341	キンセンガニ		425	メジナ		
	342	クロベンケイガニ		426	メジナ属		
	343	ケアンヒライソガニ		427	メナダ		
	344	ケフサイソガニ		428	メバル		
	345	コブシガニ科		429	ヨウジウオ		
	346	シオマネキ		430	ヨロイメバル		
	347	シワオウギガニ		431	オタマジャクシ		
	348	スナガニ		432	ミシシビアカミミガメ		
	349	スネナガイソガニ		鳥類	433	アオサギ	
	350	タイワンガザミ			434	イソシギ	
	351	タカノケフサイソガニ			435	イソヒヨドリ	
	352	チチュウカイミドリガニ			436	オオヨシキリ	
	353	トガリオウギガニ			437	カイツブリ	
	354	ハクセンシオマネキ			438	カルガモ	
	355	ハマガニ			439	カワウ	
	356	ヒメアカイソガニ			440	カワラヒワ	
	357	ヒメヒライソモドキ			441	キアシシギ	
	358	ヒメベンケイガニ			442	キジバト	
	359	ヒライソガニ			443	コアジサシ	
	360	ミナトオウギガニ			444	コサギ	
	361	モクスガニ			445	コチドリ	
	362	ヤマトオサガニ			446	シロチドリ	
	363	ユビアカベンケイガニ			447	スズメ	
	364	ヨツハモガニ			448	セッカ	
	昆虫類	365			オオスナゴミムシダマシ	449	ダイサギ
		366			オオハサミムシ	450	ダイゼン
		367		オオメカメムシ	451	チュウシャクシギ	
		368		トノサマバッタ	452	ツバメ	
		369		ヒメオオカメムシ	453	トウネン	
		370		モンキチョウ	454	トビ	
		371		アオタナゴ	455	ハクセキレイ	
魚類	372	アカオビシマハゼ	456	ハシブトガラス			
	373	アゴハゼ	457	ハシボソガラス			
	374	アサヒアナハゼ	458	ハマシギ			
	375	アナハゼ	459	ハヤブサ			
	376	アベハゼ	460	ヒバリ			
	377	アミメハギ	461	ヒヨドリ			
	378	イサキ科	462	ホウロクシギ			
	379	イシガレイ	463	ホオジロ			
	380	イソギンボ	464	ムクドリ			
	381	イダテンカジカ	465	メジロ			
	382	イダテンギンボ	466	メダイチドリ			
	383	ウナギ	その他	カイメン類	467	カワナシカイメン属	
	384	ウミタナゴ			468	クロイソカイメン	
	385	エイ類			469	ザラカイメン	
	386	カエルアンコウ			470	ザラカイメン属	
	387	カゴカキダイ			471	ダイダイイソカイメン	
	388	カサゴ属			472	ミカーレカイメン属	
	389	カレイ科			473	ムラサキカイメン	
	390	カワアナゴ			クラゲ類	474	アカクラゲ
	391	カワハギ				475	カミクラゲ
	392	カワハギ類				476	ミズクラゲ
	393	キチヌ	イソギンチャク類	477	ウメボシイソギンチャク		
	394	キヌカジカ		478	ウメボシイソギンチャク科		
	395	ギンボ		479	タテジマイソギンチャク		
	396	クサフグ		480	チギレイソギンチャク		
	397	クジメ		481	ペリルイソギンチャク		
	398	クロダイ		482	ヨロイイソギンチャク属		
	399	サラサカジカ	食毛類 等脚類	483	イソミミズ		
	400	サンマ		484	イソコツブムシ属		
	401	スジハゼB		485	ウミナナフシ亜目		
	402	スズキ		486	エビヤドリムシ科a		
	403	ダイナンギンボ		487	エビヤドリムシ科b		
	404	タケギンボ		488	オヒラキヘラムシ		
	405	チチブ		489	コツブムシ科		
406	チチブ属	490		シリケンウミセミ			
407	ドロメ	491		トンダガワイソコツブムシ			
408	ナベカ	492		ニホンコツブムシ			
409	ニクハゼ	493	ヒラタウミセミ				
410	ニシキギンボ科	494	フクロムシ				
411	ハゼ科	495	フナムシ				
412	ヒメハゼ	496	ヘラムシ科				
413	ヒラメ	エビ類	497	アシナガスジエビ			
414	ブラックバス		498	アシナガモエビ			
415	ブルーギル		499	イソスジエビ			
416	ホウボウ科		500	イソテッポウエビ			
417	ボラ		501	イソテッポウエビ類			
418	ボラ科		502	イソモエビ			
419	マコガレイ		503	エビジャコ属			

水色：種まで同定されていないもの

黄色：卵囊(塊)は、本体が出現している場合は、種類数から抜いた

表1(4) 出現種一覧(平成22年度)

分類	No.	種名	
その他	エビ類	504 オニテッポウエビ	
		505 カワリヌマエビ属	
		506 コシマガリモエビ	
		507 スジエビモドキ	
		508 スジエビ属	
		509 テッポウエビ	
		510 テッポウエビ科	
		511 テッポウエビ属	
		512 テナガエビ	
		513 ユビナガスジエビ	
		アナジャコ類	514 スナモグリ科
			515 ニホンスナモグリ
			516 ハサミシャコエビ
			517 ヨコヤアナジャコ
		ヒトデ類	518 イトマキヒトデ
			519 イトマキヒトデ科
			520 キヒトデ
			521 トゲイトマキヒトデ
			522 トゲモミジガイ
			523 スノメイトマキヒトデ
			524 スメハダヒメヒトデ
			525 ヒメヒトデ属
			526 ヤツデヒトデ
		ウニ類	527 バフンウニ
			528 ムラサキウニ
		ナマコ類	529 イカリナマコ科
			530 ナマコ綱
			531 ヒモイカリナマコ
			532 マナマコ
		ホヤ類	533 Ciona属
			534 イタボヤ科
			535 カタウレイボヤ
			536 カラスボヤ
			537 コバンイタボヤ属
			538 シロウスボヤ
			539 シロボヤ
			540 シロボヤモドキ
			541 ナツメボヤ
			542 ホヤ綱
			543 マクラボヤ
			544 マクワボヤ
			545 マンジュウボヤ
			546 群体ボヤ類
		その他	547 ナガトゲクモヒトデ
			548 ニツボンクモヒトデ
			549 Escharoides属
			550 アミメコケムシ科
			551 イタコブコケムシ科
			552 ウスコケムシ科
			553 コフヒラコケムシ
			554 サメハダコケムシ
		555 サラコケムシ科	
		556 チコケムシ	
		557 ハナザラコケムシ	
		558 フサコケムシ	
		559 ホソフサコケムシ	
		560 モングチコケムシ	
		561 タナイス科	
		562 Zeuxo属	
		563 イイジマヒラムシ	
		564 イソハエトリ	
		565 ウスヒラムシ	
		566 ウミグモ綱	
		567 ウミシバ科	
		568 カイウミヒドラ	
		569 カサシャミセン	
		570 サメハダホシムシ	
		571 シマウミグモ	
		572 タカオハエトリ	
		573 チョウ目	
		574 ヒモムシ類	
		575 ヒラムシ類	
		576 マダコ	
		577 ミノヒラムシ	
		578 針紐虫目	
種類数		474	

水色：種まで同定されていないもの  
 黄色：卵囊（塊）は、本体が出現している場合は、  
 種類数から抜いた

### 3. リスト掲載種の出現状況

#### 3-1. 平成 22 年度結果

リスト掲載種の調査箇所別出現状況を表 2 に示しました。

なお、一連の環境で行われた近隣の地点は、過大評価を避けるため統合しました。

表 2 リスト掲載種の調査箇所別出現状況（平成 22 年度）

分類群	和名	地点No.																	出現頻度(全17箇所)
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	
海藻類	緑藻類	アナアオサ	●	●	●		●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	12	
	スジアオノリ		●		●			●	●		●		●	●				8	
	紅藻類	オゴノリ									●	●	●	●			3		
植物		オカヒジキ	●		●						●	●	●	●			7		
		コウボウムギ	●	●	●	●					●	●	●	●			7		
		ハマウド			●	●						●	●	●	●		5		
		ハマゴウ	●	●	●	●					●	●	●	●			6		
		ハマダイコン	●	●	●	●						●	●	●	●	●	7		
		ハマボウフウ	●	●	●					●	●		●	●	●		8		
									●	●									
貝類	(巻貝)	アラレタマキビガイ	●	●	●			●	●		●	●	●	●	●	●	●	10	
		イシマキガイ		●		●	●					●	●	●	●	●	●	7	
		イボニシ	●	●	●	●		●	●		●	●	●	●	●	●	●	13	
		タマキビガイ	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	15	
	(二枚貝)	アサリ	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	15	
		ウスカラシオツガイ		●	●							●						2	
		ウネナシトマヤガイ		●	●	●						●						5	
		クチバガイ		●	●	●						●	●	●	●	●	●	8	
		ケガキ	●									●	●		●	●	●	7	
		コウロエンカワヒバリガイ		●	●	●	●				●	●						7	
		マガキ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	17	
		ムラサキイガイ	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	11	
フジツボ類	アメリカフジツボ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	7	
	クロフジツボ	●										●	●	●	●	●	6		
	シロスジフジツボ											●	●	●	●	●	5		
	タテジマフジツボ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	13		
	ドロフジツボ				●												3		
	ヨーロッパフジツボ			●	●						●						4		
ヤドカリ類	ホンヤドカリ	●					●					●	●	●	●	●	4		
	ユビナガホンヤドカリ		●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	15		
カニ類	アカテガニ											●	●	●			1		
	アシハラガニ						●					●	●	●			3		
	イソガニ	●		●	●		●			●	●	●	●	●		●	11		
	オウギガニ	●															1		
	クロベンケイガニ				●							●	●				3		
	ケフサイソガニ		●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	11		
	スナガニ										●					●	2		
	タカノケフサイソガニ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	13		
	チチュウカイミドリガニ		●	●			●	●							●	●	6		
	ハウセンシオマネキ		●	●	●		●			●		●	●	●	●	●	7		
	ヒライソガニ	●		●			●			●	●	●	●	●	●	●	11		
	ヤマトオサガニ		●									●	●	●	●	●	4		
その他	ヨコエビ類	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	16		
	多毛類	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	15		
種類数(●の数)		16	24	23	22	7	16	14	15	17	23	15	30	20	20	20	17	11	41

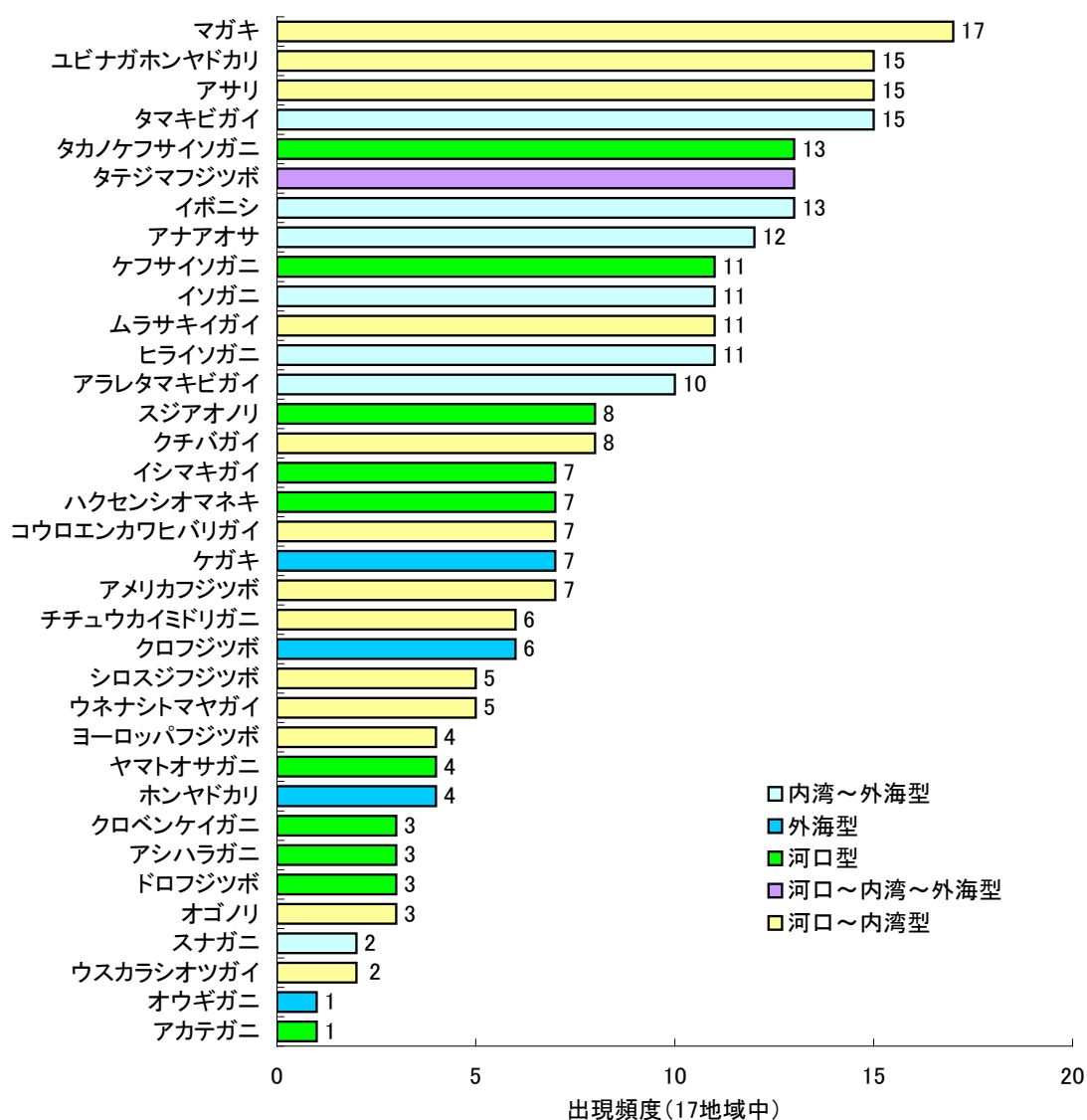
注: 1) ●: 種まで同定されたもの □: 種まで同定されていないもの(種数に含めない)  
 2) 種名は各分類群中で五十音順。

リスト掲載種の出現頻度を河口、内湾、外海等の生態型とともに整理し、図 3 に示しました。各種の生態型については、大阪湾生き物一斉調査解説ブック、第 24 回 淀川環境委員会 4.汽水域環境部会 汽水域生物環境評価WG報告の「分析対象種と類型」及び各種図鑑等に記載されている生態を参考に分類しました。

全体に内湾型もしくは内湾～外海型の種の出現頻度が高く、マガキは17地域全ての地域で、ユビナガホンヤドカリとアサリ、タマキビガイが17地域中15地域で確認されました。

河口型ではタカノケフサイソガニが13地域で確認され、外海型のケガキは7地域、クロフジツボは6地域で確認された。

なお、リストに掲載されており、今回確認されなかったのはフレリトゲアメフラシ、アカフジツボの2種であった。



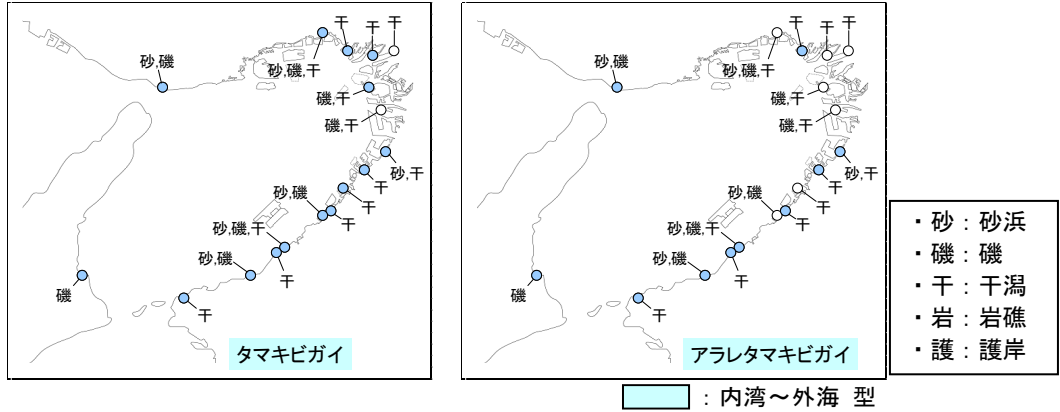
注) 各種の生態型については、本調査の「解説ブック」と第24回 淀川環境委員会 4.汽水域環境部会 汽水域生物環境評価WG報告の「分析対象種と類型」及び各種図鑑等に記載されている生態を参考に分類した。

図3 リスト掲載種の生態型と出現頻度 (平成22年度)

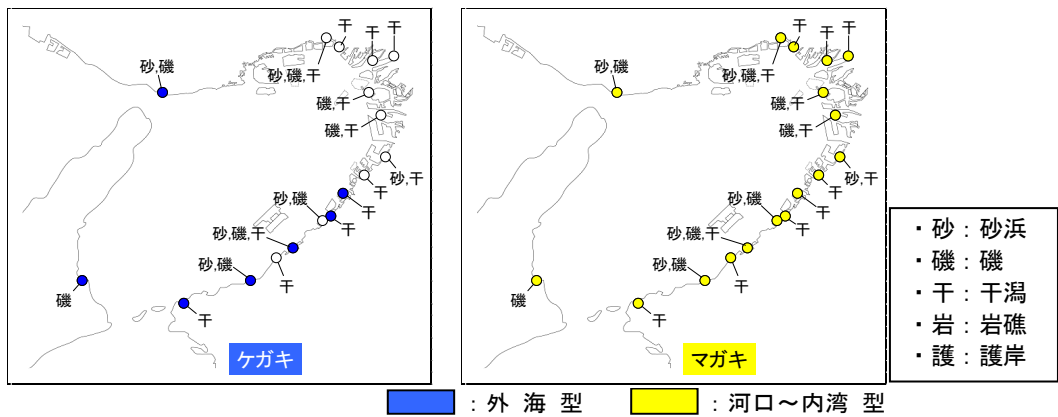
リスト掲載種を中心に、大阪湾の代表的な種の分布を図 4(1)~(4)に示しました。

貝類・ヤドカリ類

アラレタマキビガイ、タマキビガイは内湾～外海型ですが、アラレタマキビガイはより高潮帯の波しぶきの当たる所を好み、静穏な湾奥を除く広域で出現していました。タマキビガイは潮間帯に普通にみられ、湾内のほぼ全域で出現していました。



- 外海型のケガキは湾中間域より湾奥では出現せず、これに対し河口～内湾型のマガキはほぼ全域で出現していました。



- 外海型のホンヤドカリは舞子・淡路島洲本及びせんなん里海公園の湾口側で出現し、例外的に湾奥南港野鳥園で出現していました。これに対し、河口～内湾型のユビナガホンヤドカリは一部ホンヤドカリと重複し、湾内のほぼ全域で出現していました。

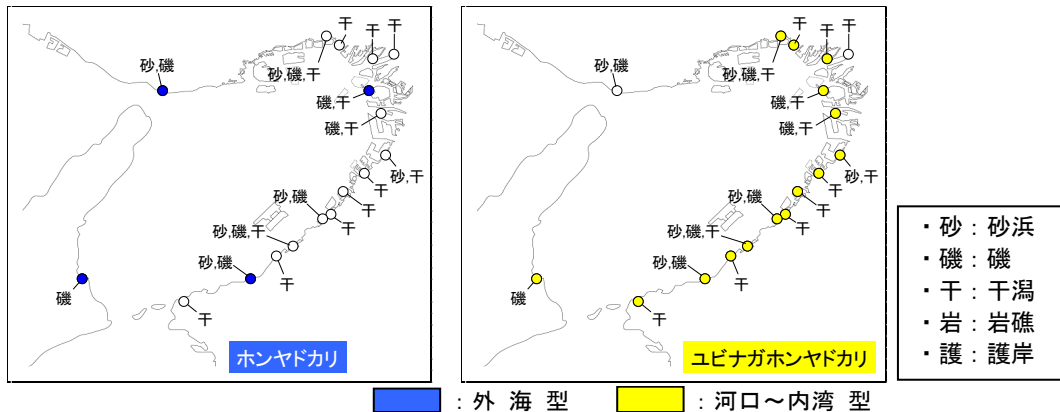
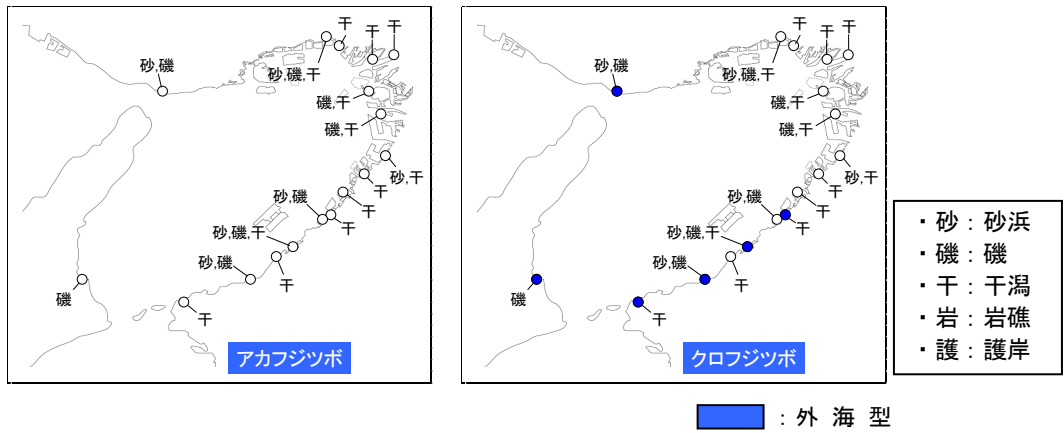


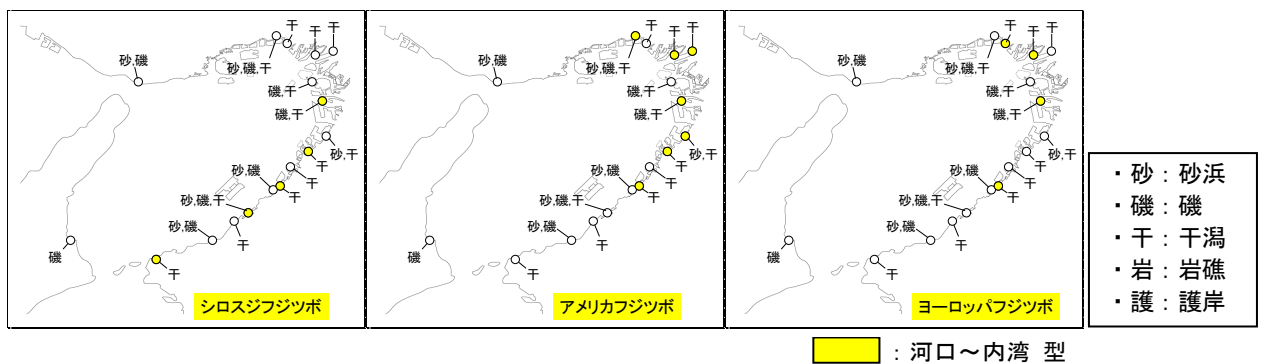
図 4(1) 代表的な種の分布（貝類、ヤドカリ類）—平成 22 年度

## フジツボ類

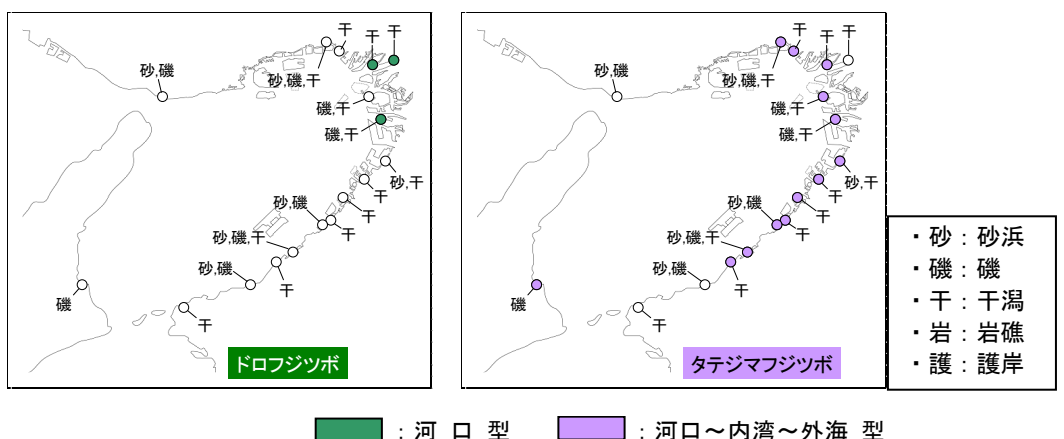
- 外海型のクロフジツボは湾中間域より湾口側で出現し、同型のアカフジツボは今年は出現していませんでした。



- 河口～内湾型のシロスジフジツボは大阪府側の湾中間域～湾口で出現し、同型のアメリカフジツボとヨーロッパフジツボは大阪府側の湾奥～湾中間域一帯で出現していました。



- 広域型のタテジマフジツボは大阪湾のほぼ全域で出現していました。一方、河口型のドロフジツボの出現は湾奥の3地域で出現していました。

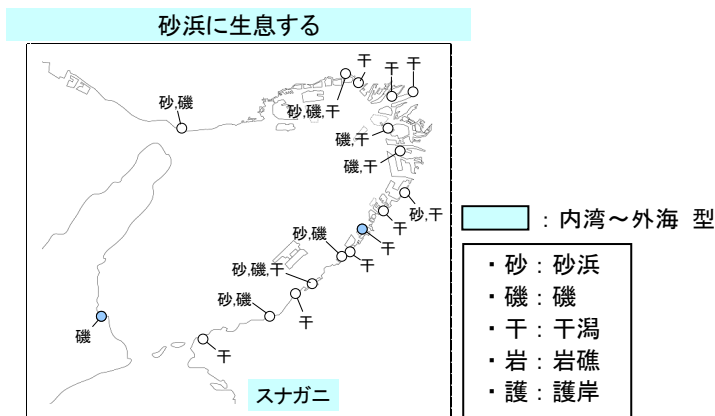


- アカフジツボやドロフジツボは主に潮下帯に付着することから、観察される機会が少なかつたことも考えられます。

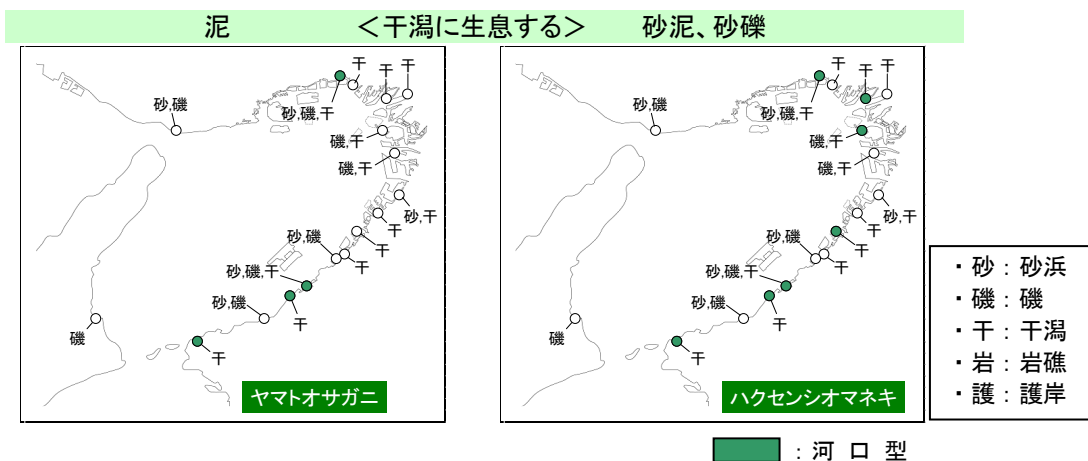
図4(2) 代表的な種の分布(フジツボ類)ー平成22年度

カニ類

- 砂浜に生息するスナガニ<sup>1</sup>が確認されたのは淡路島洲本と大阪府側湾中間域の阪南二区埋立地の砂浜がある地域でした。



- 河口の泥干潟に生息するヤマトオサガニ、砂泥～砂礫の干潟に生息するハクセンシオマネキは香櫨園浜、男里川・榎井川河口などの干潟のある地域で出現していました。



- アシハラガニやクロベンケイガニ、アカテガニ等も河口の地域の一部でのみ出現していました。

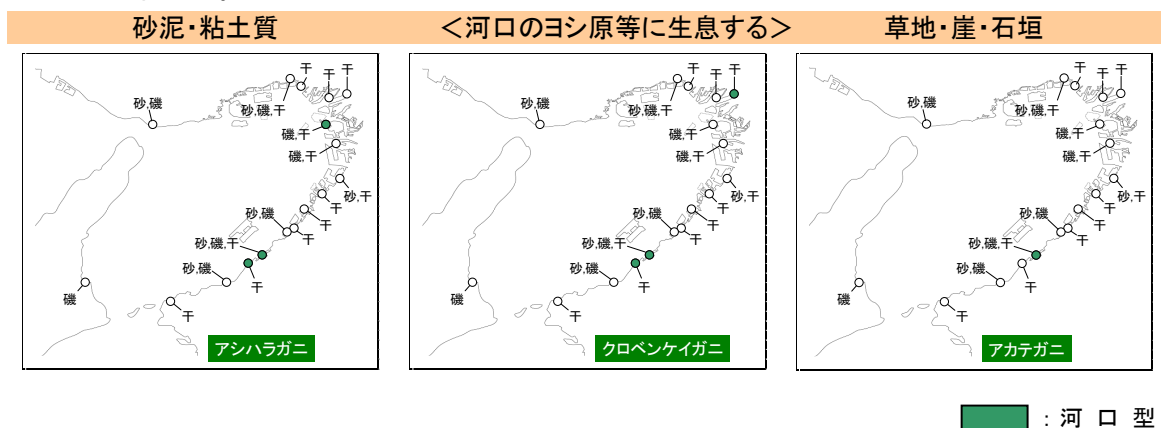


図4(3) 代表的な種の分布(カニ類)ー平成22年度

<sup>1</sup> スナガニ類を指す(巣穴のみを確認した場合を含むため)

外来種

- ミドリイガイが出現したのは湾奥の 1 地域だけでした。

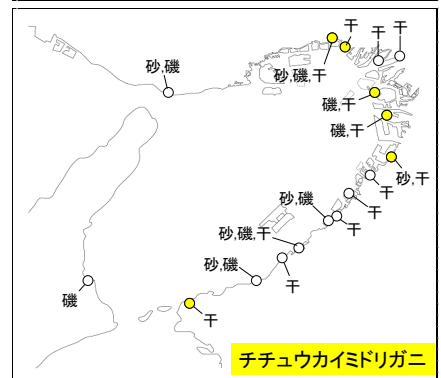
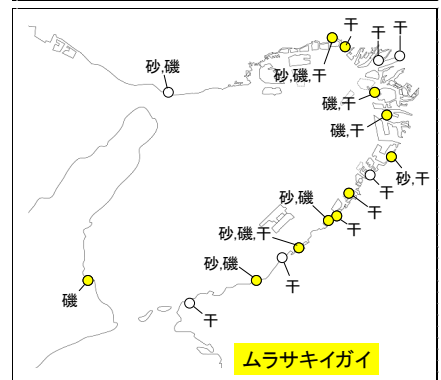
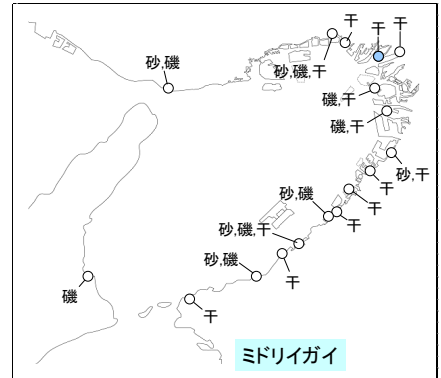
■ : 内湾～外海 型

- ムラサキイガイは広域で出現していました。

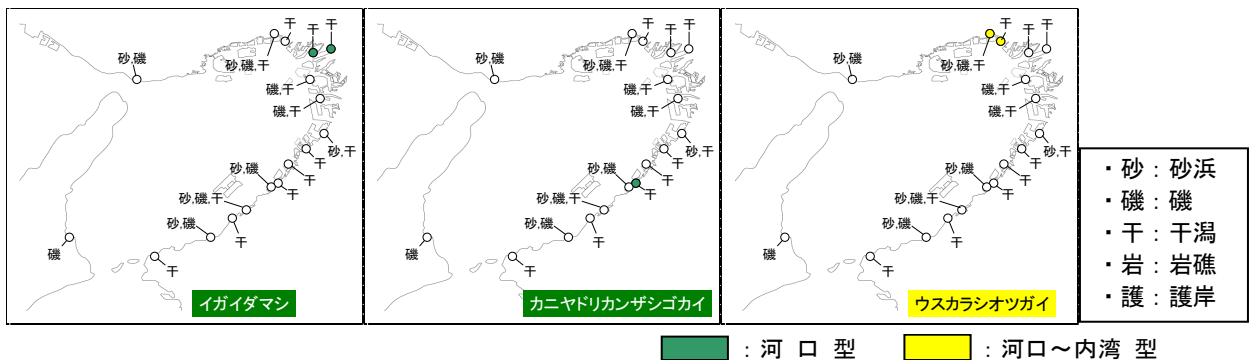
■ : 河口～内湾 型

- コウロエンカワヒバリガイやチチュウカイミドリガニは湾中間域～湾奥で出現していました。

■ : 河口～内湾 型



- 河口型のイガイダマシ、カニヤドリカンザシゴカイ、ウスカラシオツガイは湾奥あるいは湾中間域の限定された地域で出現していました。



■ : 河口型    ■ : 河口～内湾 型

- 外来種の分布はムラサキイガイを除き、湾中間域～湾奥で多い傾向がみられました。

図4(4) 代表的な種の分布(外来種) -平成22年度

### 3-2. 過年度との比較

リスト掲載種について、平成 20～21 年度調査結果と併せて整理し、表 3 に示しました。

平成 20 年度のリスト掲載種は 41 種でしたが、昨年度の調査状況を踏まえ、平成 21 年度以降は一部の種の入替えや追加を行い 43 種（多毛類、ヨコエビ類含まず）を調査シートに掲載して実施しました。また、各調査箇所の調査場所については、団体によっては調査海岸を変更したり、同一地域内で調査範囲を変更している場合がみられ、調査人数にも違いがあります。

このため、3 カ年の出現状況を単純に比較することはできませんが、経年的にほぼ同一場所で調査されているとみられる調査地域同士についてみると、種数は近似しており、同様の種が確認されている場合が多くなっていました。



付表 貴重種の出現状況一覧（平成22年度）

分類群	種名	兵庫県 RDB 1)	大阪府 RDB 2)	環境省 2007年度版RL 3)	水産庁 RDB 1998年 4)	WWF 干潟RDB 5)	今年度初確認の重要種	
海藻類	緑藻類	スジアオノリ			減少傾向			
	紅藻類	ホソアヤギス (絶滅危惧Ⅱ類)		準絶滅危惧				
植物(リスト掲載種のみ)		コウボウムギ	絶滅危惧Ⅱ類					
		ハマコウ	絶滅危惧Ⅱ類					
		ハマボウフウ	絶滅危惧Ⅰ類					
海藻類	海草	コアマモ (絶滅危惧Ⅰ類)				希少	○	
貝類 (巻き貝)		アカニシ			減少	危険		
		アダムスタマガイ				危険	○	
		アラムシロガイ (準絶滅危惧)						
		イシマキガイ		要注目種	減少			
		ウミナナ (絶滅危惧Ⅰ類)			準絶滅危惧	減少傾向	危険	
		カキウラクチキレモドキ					危険	
		カワグチツボ (絶滅危惧Ⅰ類)			準絶滅危惧		危険	
		カワザンショウガイ (準絶滅危惧)						
		クリロカワザンショウ (準絶滅危惧)						○
		ツボミガイ			準絶滅危惧			○
		フトヘナタリ (準絶滅危惧)			準絶滅危惧		危険	
		ホソウミニナ (準絶滅危惧)						
		マルウスラタマキビガイ 要注目種					危険	
		(二枚貝)	ウネナシトマヤガイ (準絶滅危惧)		準絶滅危惧		危険	
		オノノガイ (絶滅危惧Ⅰ類)					危険	
		オチバガイ (絶滅危惧Ⅰ類)					危険	○
		カガミガイ 要注目種						
	クチバガイ (絶滅危惧Ⅱ類)			準絶滅危惧				
	ソトオリガイ (準絶滅危惧)					危険		
	ヤマトシジミ (絶滅危惧Ⅱ類)			準絶滅危惧				
多毛類		コケコカイ (準絶滅危惧)						
	タマシキゴカイ (絶滅危惧Ⅱ類)							
カニ類		アカテガニ (準絶滅危惧)						
		アシハラガニ (準絶滅危惧)						
		クロベンケイガニ (準絶滅危惧)						
		シオマネキ			絶滅危惧Ⅱ類	希少	危険	
		スネナガイソガニ					希少	○
		ハウセンシオマネキ (絶滅危惧Ⅰ類)			絶滅危惧Ⅱ類		危険	
		ハマガニ (絶滅危惧Ⅱ類)						
		モクスガニ				減少傾向		
		ヤマトオサガニ (絶滅危惧Ⅱ類)						
		ユビアカベンケイガニ (準絶滅危惧)						
魚類		イダテンギンボ (絶滅危惧Ⅰ類)						
		ウナギ			情報不足			
		カワアナゴ (絶滅危惧Ⅰ類)		情報不足			○	
		チヂブ (情報不足)		情報不足				
		ミズハゼ (情報不足)						
その他	エビ類	テッポウエビ (準絶滅危惧)						
		ユビナガスジエビ (準絶滅危惧)						
	アナジャコ類	ニホンスナモグリ (準絶滅危惧)					○	
		ハサミシャコエビ (絶滅危惧Ⅱ類)						
		ヨコヤアナジャコ (準絶滅危惧)					○	
	ナマコ類	ヒモイカリナマコ (情報不足)				危険		

注)

- 改訂・兵庫の貴重な自然 兵庫県版レッドデータブック2003、植物はレッドリスト2010 ( )は兵庫県評価を「改訂・日本版レッドデータブック」の相当カテゴリーに置換したものの。
- 大阪府における保護上重要な野生生物 -大阪府レッドデータブック- 平成12年3月
- 環境省 2007年度版レッドリスト
- 水産庁.1998.日本の希少な野生水生生物に関するデータブック.社団法人日本水産資源保護協会.437pp.東京.
- WWF Japan Science Reprint vol.3,1996.  
評価「普通」は省略した。
- 貴重種選定にあたり、基本的に水生動植物を対象とし、陸上植物は本調査のリスト掲載種に限定した。
- 各評価の区分と定義概念は下記による。特に区別の記載のない区分は環境省に準ずる。  
絶滅危惧Ⅰ類：現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難なもの。  
絶滅危惧Ⅱ類：現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧Ⅰ類」のランクに移行することが確実と考えられるもの。  
準絶滅危惧：現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの。  
情報不足：評価するだけの情報が不足している種。  
要注目種(兵庫)：最近減少の著しい種、優れた自然環境の指標となる種などの貴重種に準ずる種。  
要調査種(兵庫)：改訂・日本版レッドデータブックの情報不足に相当。  
要注目種(大阪)：「絶滅」「絶滅危惧」「準絶滅危惧」「情報不足」の区分以外で大阪府において保護上重要なもの。  
減少傾向(水産庁)：長期的にみて減少しつつあるもの。  
減少(水産庁)：明らかに減少しているもの。  
希少(水産庁)：存続基盤が脆弱な種・亜種  
危険(WWF)：絶滅に向けて進行しているとみなされる種。今すぐ絶滅という危機に瀕するということはないが、現状では確実に絶滅の方向へ向かっていると判断されるもの。  
希少(WWF)：特に絶滅を危惧されることはないが、もともと個体数が非常に少ない種。

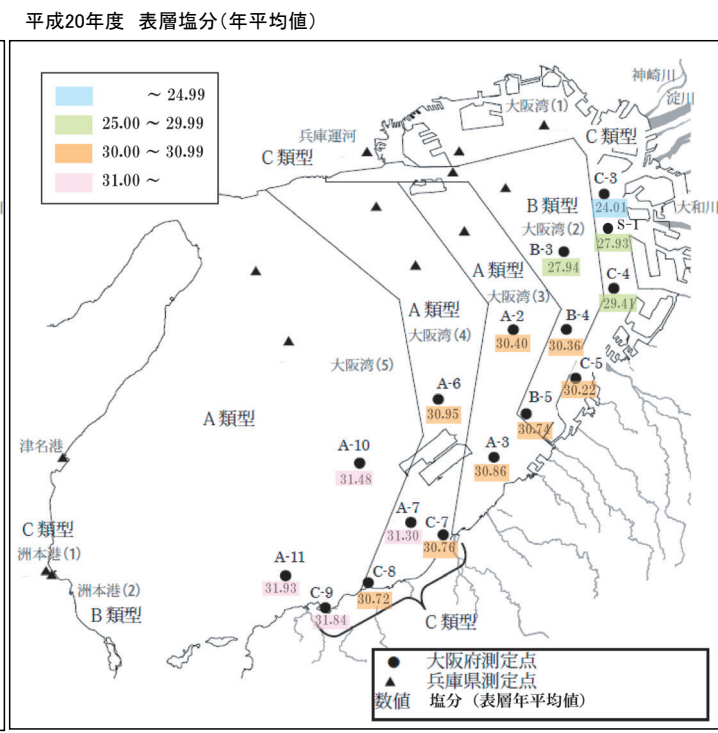
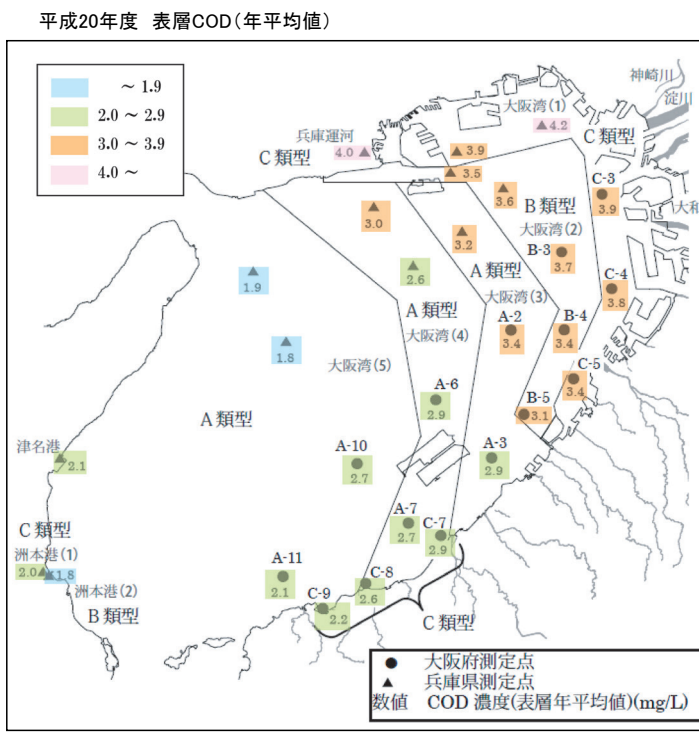
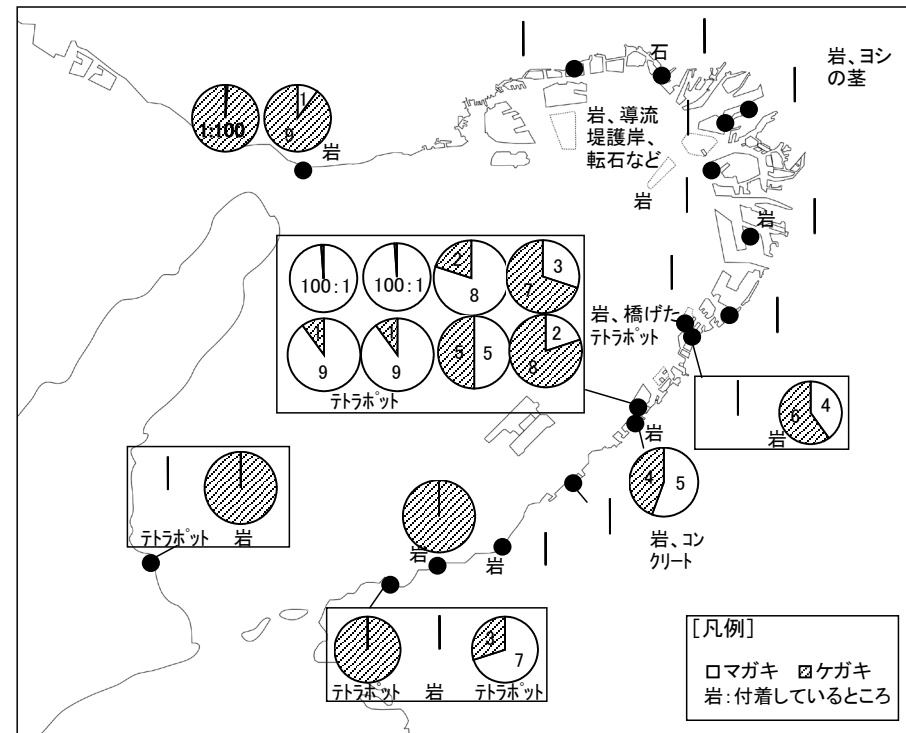
■今回初確認の重要種

コアマモ	海藻類
アダムスタマガイ	貝類
クリロカワザンショウ	貝類
ツボミガイ	貝類
オチバガイ	貝類
スネナガイソガニ	カニ類
カワアナゴ	魚類
ニホンスナモグリ	アナジャコ類
ヨコヤアナジャコ	アナジャコ類

#### 4. テーマ「マガキ・ケガキの優占状況の把握」

今年度の調査では、調査の意義を増大させるためテーマを設定しました。各調査地域の状況及び分布は以下のとおりです。

調査地点	担当団体	場所の種類	傾斜	付着場所	マガキ:ケガキ	場所の種類	傾斜	付着場所	マガキ:ケガキ	場所の種類	傾斜	付着場所	マガキ:ケガキ	場所の種類	傾斜	付着場所	マガキ:ケガキ	
1	アジュール舞子	須磨海浜水族園ボランティア	砂浜、人工 転石海岸	ふつうの傾斜 (10~30度)	岩	1:9			1:100									
2	香櫨園浜(御前浜)	西宮自然保護協会				10:0												
3	甲子園海浜公園	NPO法人 海浜の自然環境を守る会	干潟	緩い傾斜 (5~10度)	石	10:0	干潟	緩い傾斜 (5~10度)、 傾斜なし	石	10:0		石	10:0	干潟	傾斜なし	石	10:0	
4	矢倉海岸	西淀自然文化協会	干潟	傾斜なし	岩、導流 堤護岸、 転石など	10:0												
5	十三干潟(淀川)	(社)大阪自然環境保全協会 淀川自然観察会[5/30]	干潟	緩い傾斜 (5~10度)	岩、ヨシ の茎	10:0												
6	大阪南港野鳥園	大阪南港野鳥園	磯	ふつうの傾斜 (10~30度)	岩	10:0												
7	高師浜	浜寺公園自然の会	干潟	緩い傾斜 (5~10度)		10:0												
8	大津川河口	きしわだ自然資料館[5/30]	干潟	緩い傾斜 (5~10度)	岩	10:0	干潟	垂直護岸	橋げた	10:0	干潟	ふつうの傾斜 (10~30度)	テトラ ポット	10:0	干潟	緩い傾斜 (5~10度)	岩	10:0
9	阪南二区埋立地	きしわだ自然友の会	干潟	緩い傾斜 (5~10度)	岩	10:0	干潟	ふつうの傾斜 (10~30度)	岩	4:6 マガキは死に殻 が多く、ケガキは 老成個体	急な傾斜 (30度以上)	岩	4:6 まばら					
10	近木川河口	NPO法人 シニア自然大学校 森と海の自然科[5/27]	干潟	緩い傾斜 (5~10度)	テトラ ポット	100:1	干潟	緩い傾斜 (5~10度)	テトラ ポット	100:1	干潟	緩い傾斜 (5~10度)	テトラ ポット	8:2	干潟	緩い傾斜 (5~10度)	テトラ ポット	3:7
			干潟	緩い傾斜 (5~10度)	テトラ ポット	9:1	干潟	緩い傾斜 (5~10度)	テトラ ポット	9:1	干潟	緩い傾斜 (5~10度)	テトラ ポット	5:5 上の部分テトラ1 個にケガキ2点 在	干潟	緩い傾斜 (5~10度)	テトラ ポット	2:8 高潮位 テトラに3 ~4個 (下はマガキ)
12	岡田浦海岸	男里川・河口干潟を守る会	岩礁	ふつうの傾斜 (10~30度)	岩	5:4 水中に小型個体 多数含むと 9:1												
			干潟	緩い傾斜 (5~10度)	岩	10:0	河川内	垂直護岸	コンク リート	10:0								
13	男里川河口干潟		干潟	緩い傾斜 (5~10度)	岩	10:0	川	垂直護岸	岩	10:0								
14	せんなん里海公園	里海くらぶ連絡協議会	人工岩礁、 潮入りの 浜、岩斜面	急な斜面 (30度以上)	岩	0:10	岩礁 外側タイド プールの置 岩	ふつうの傾斜 (10~30度) ~急な斜面 (30度以上)	岩	0:10								
15	東川(落合川)河口	きしわだ自然資料館[5/30]	干潟	緩い傾斜 (5~10度)	テトラ ポット	0:10	干潟	ふつうの傾斜 (10~30度)	岩	10:0	干潟	緩い傾斜 (5~10度)	テトラ ポット	7:3				
16	洲本市大浜	国立公園成ヶ島を美しくする会	干潟	垂直護岸	テトラ ポット	10:0	磯・岩礁	ふつうの傾斜 (10~30度)	岩	0:10								
17	堺2区埋立地	NPO法人 釣り文化協会	人工磯	ふつうの傾斜 (10~30度)	岩	10:0												



【変更履歴】

2026.3 P02 コメントの変更

2026.3 P15 付表の差し替え